

令和7年度 第1回 四日市市下水道事業運営委員会

事項書

日時:令和8年1月28日(水)10:00～

場所:四日市市上下水道局 地下1階会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員の紹介

4. 出席者の紹介

5. 委員長の選出

6. 議題

＜報告事項＞

(1)令和7年9月12日の大雨について

(2)下水道事業の経営状況について

＜協議事項＞

(3)四日市市上下水道事業運営委員会への改編について

7. その他

8. 閉会

四日市市下水道事業運営委員会 委員名簿

(任期:令和7年12月20日 ～ 令和9年12月19日)

区 分	委 員 氏 名	役 職 等
学識経験者	あさひ 幸代 朝 日 幸 代	三重大学教授
	つるた りえ 鶴 田 利 恵	四日市大学教授
	いしやま じゅん 石 山 純	税理士
市民代表	やまもと しんこ 山 本 信 子	
	みずたに しんじ 水 谷 慎 志	
	はば せいじ 羽 場 誓 司	
	ふじた みちこ 藤 田 倫 子	

令和7年度 第1回 四日市市下水道事業運営委員会

席次表

日時:令和8年1月28日(水) 10:00～

場所:四日市市上下水道局 地下1階会議室

<経営企画課>

副参事	水道財政係長	水道財政係	企画計画係長	企画計画係			
あおき たかみつ 青木 孝充	いとう ひとし 伊藤 斉	さいとう たかし 齋藤 高志	おの たいし 小野 大志	おいしお そうし 追塩 壮司	さとう ゆうや 佐藤 佑哉	なるかわ きょうへい 生川 恭平	いしだ りょうへい 石田 遼平

政策推進監

やじま しんいち
矢島 進一

下水維持課長

いとう むつひろ
伊藤 睦浩

下水建設課長

いなも たけひろ
稲毛 雄大

施設課長

なかの ふみひろ
中野 文裕

経営企画課長

わたなべ ゆきなり
渡部 行成

上下水道事業管理者

ばん あきら
伴 光

管理部長

こまだ やすし
駒田 泰

技術部長

なかむら よしのり
中村 佳典

はば せいじ
羽場 誓司

委員

みずたに しんじ
水谷 慎志

委員

いしやま じゅん
石山 純

委員

あさひ さちよ
朝日 幸代

委員

つるた りえ
鶴田 利恵

委員

令和7年度

第1回下水道事業運営委員会

令和8年1月28日

四日市市上下水道局

議題

<報告事項>

- 1 令和7年9月12日の大雨について
- 2 下水道事業の経営状況について

<協議事項>

- 3 四日市市上下水道事業運営委員会への改編について

1 令和7年9月12日の大雨について

目次

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

(2)治水対策の方向性と取組

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

➤ 9月12日の降雨状況

1) 気象予報 (気象台)

・9月11 日

「13 日にかけて大雨のおそれがある」との見通しを示しており、北部で大雨警報が発表される可能性を「中」とし、1時間に50 mm程度の降水量を予想していた。

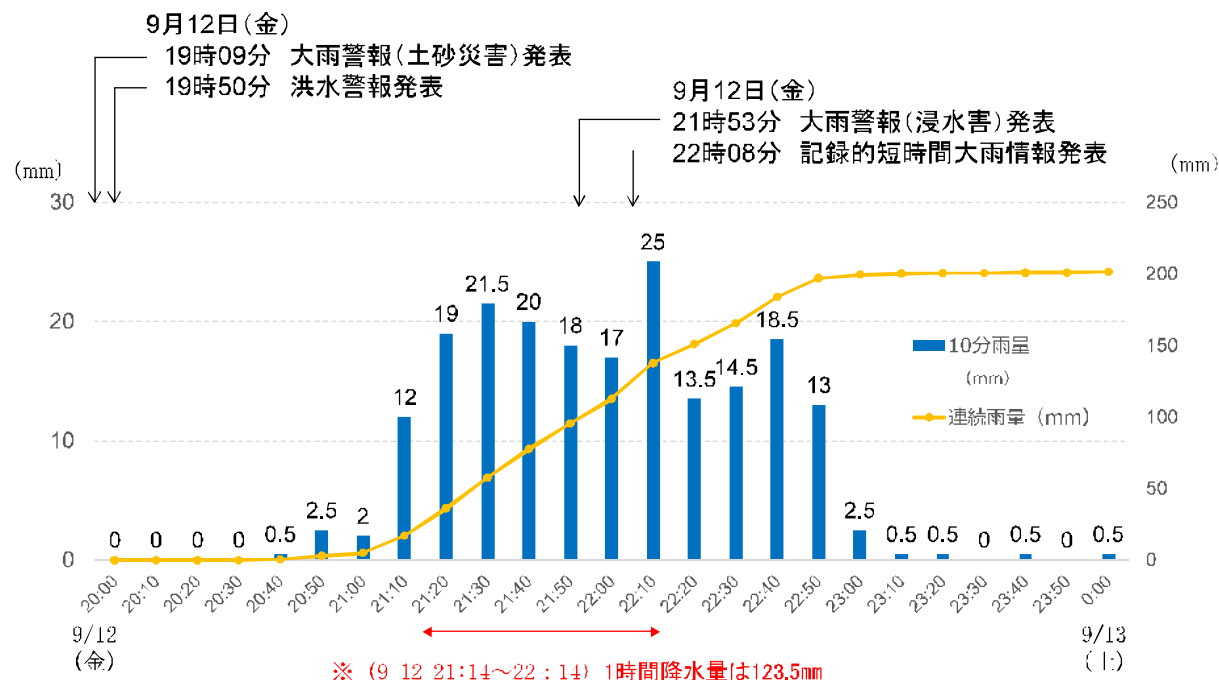
・9月12 日夕方

「大雨と雷及び突風に関する三重県気象情報」が発表され、三重県北中部での1時間降水量は「多い所で50mm」を見込んでいた。

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

2) 降雨状況

9月12日の降雨状況(三重県四日市市の降水量(10分雨量データ))



出典：気象庁データ（四日市観測所より）を用いて中部地方整備局で加工

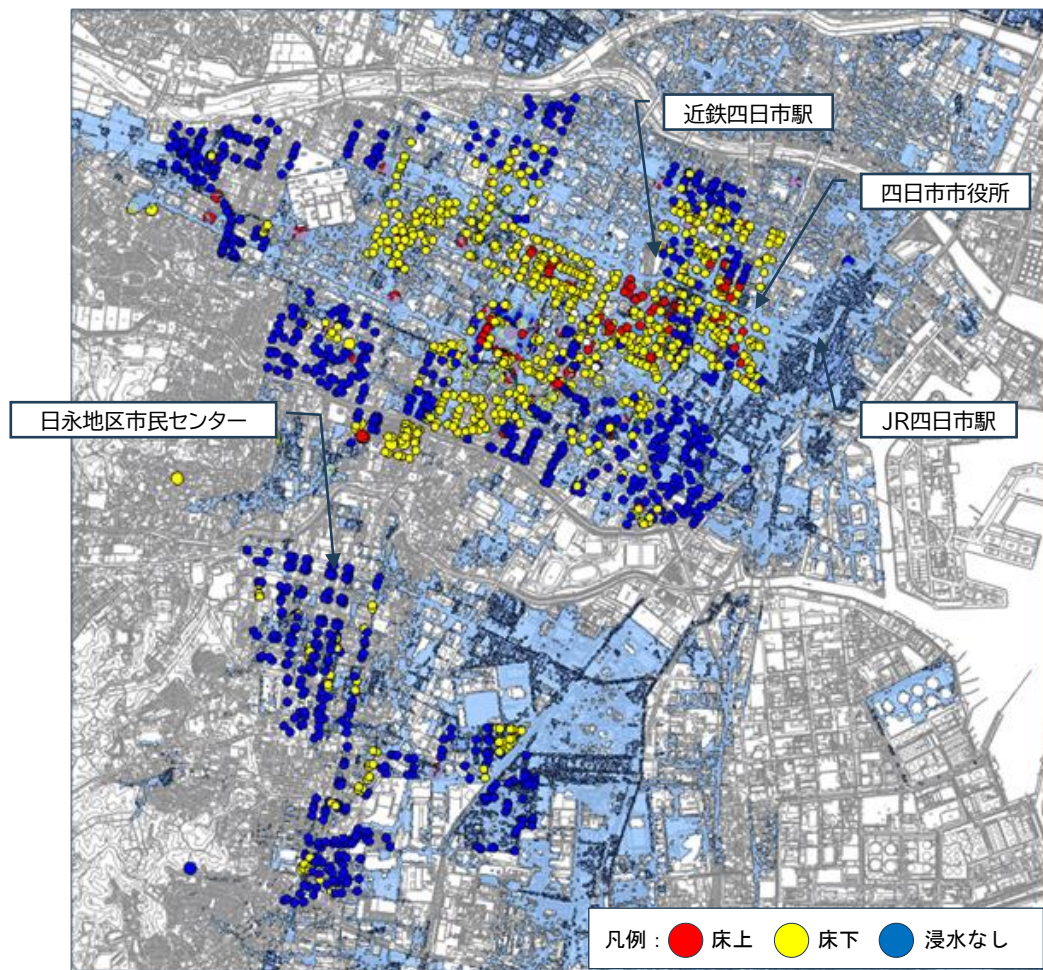
1

1時間に123.5 mmの
観測史上最大雨量を記録

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

➤ 市内の浸水被害

1) 浸水状況



9月12日の大雨災害における住家被害認定調査、概要調査の結果を、内水氾濫ハザードマップに重ねたデータ

2) 浸水被害状況

① 住家の浸水被害件数

床上浸水:114 件 床下浸水:111 件

*罹災証明書発行状況(10月31日現在)

【参考】

概要調査における浸水想定件数

床上浸水:約200 件 床下浸水:約3,100 件

*概要調査は、大規模な自然災害が発生し、広範囲で住家等に被害が出た直後に、被災状況を迅速かつ概略的に把握する目的で実施した。

その件数は、概数であり、実際に被災した住民が支援を受けるために自ら申請する罹災証明件数とは、一般的に差が生じる。

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

➤ 浸水状況写真



市役所周辺

(1)令和7年9月12日の大雨による被災状況

➤ 浸水状況写真



中央通り(近鉄四日市駅東側)



中央通り(近鉄四日市駅西側)

(2)治水対策の方向性と取組

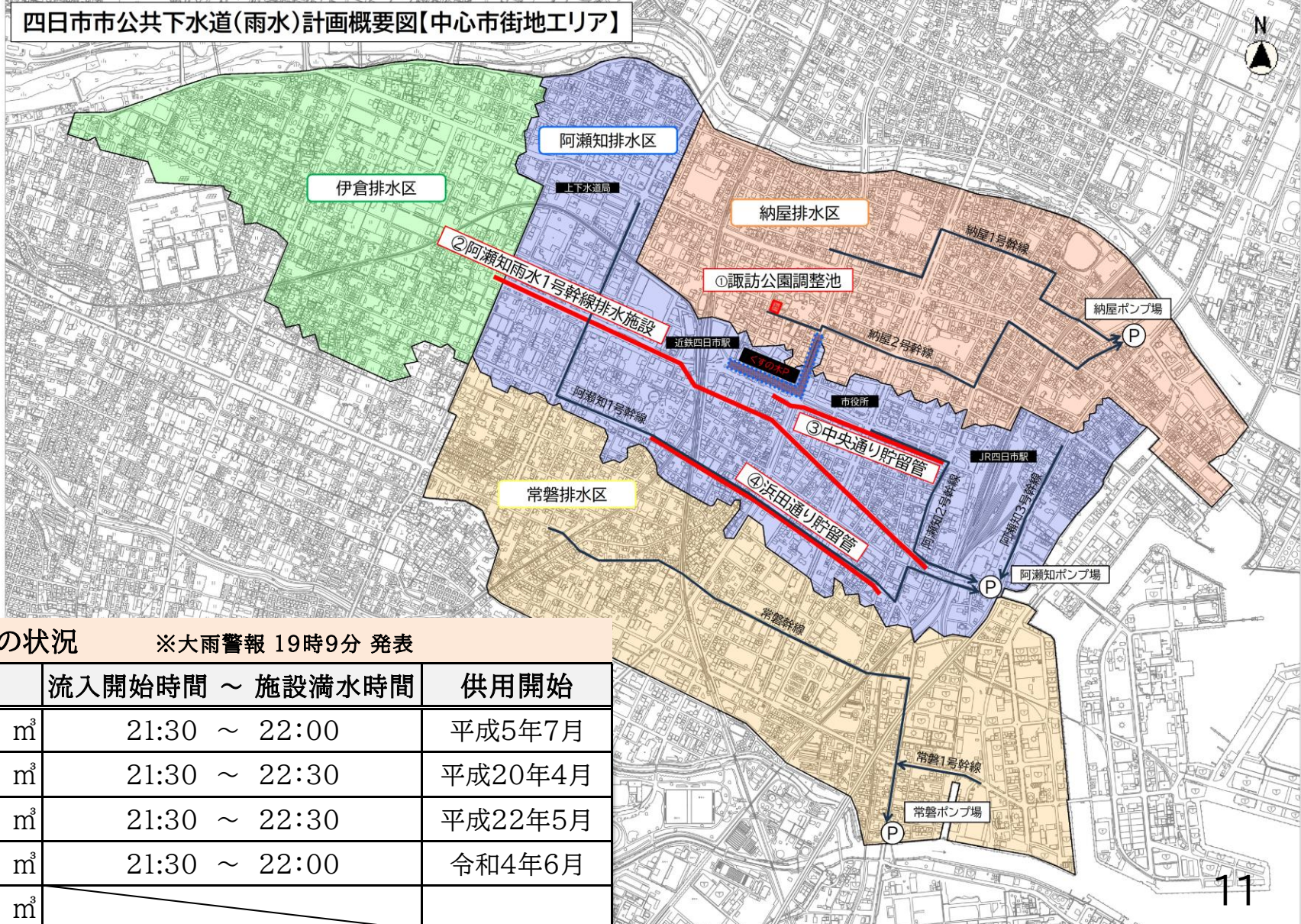
➤ 治水対策の方向性

- ・中心市街地における雨水排水施設の整備水準10年確率降雨・時間雨量75.1mm(国の補助要件を満たす最大値)に引き上げ施設整備
- ・貯留管や雨水ポンプ場などの排水施設は十分に機能を発揮したものの、**整備水準を超える記録的な短時間の大雨**に見舞われたことから、中心市街地とその周辺で浸水被害が発生

→本市では、これまでも**ハード対策とソフト対策が一体となった総合治水対策**に努めてきたが、国の「流域治水」の考え方を参考にして、治水対策を推進していく

※今回のような大雨による災害は、国内各所で頻発しており、国では気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、「氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」からなる、ハード対策とソフト対策が一体となった多層的な水害対策である「流域治水」に取り組んでいる

(2)治水対策の方向性と取組（ハード対策－これまで）



(2)治水対策の方向性と取組 (ハード対策－これまで)

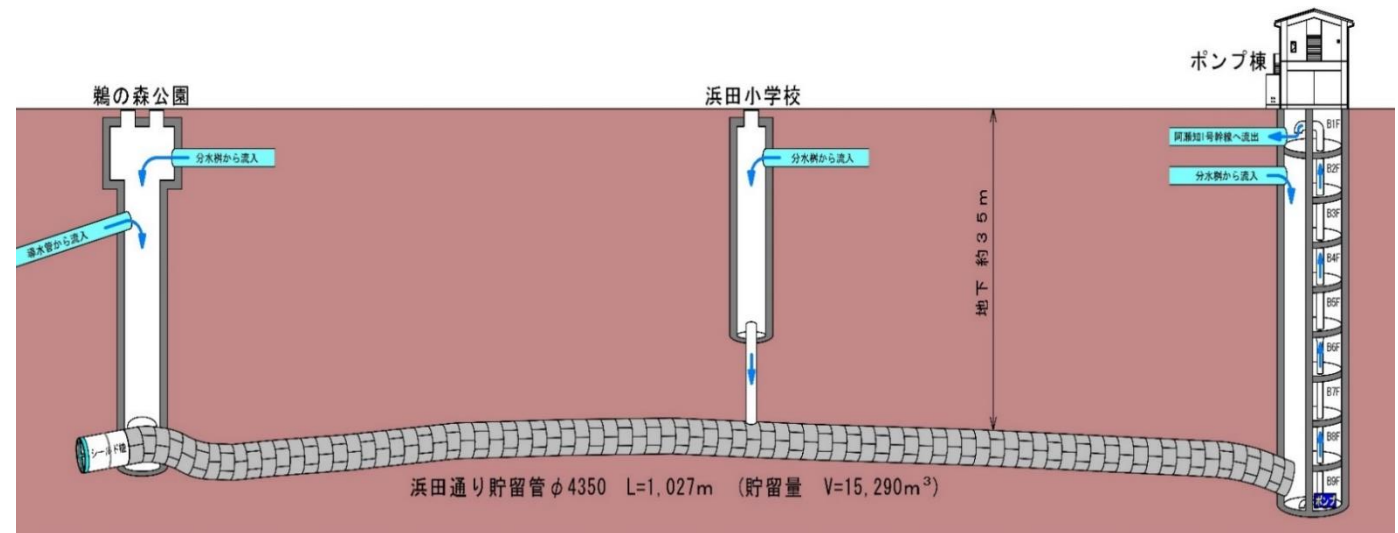
➤浜田通り貯留管

<施設概要>

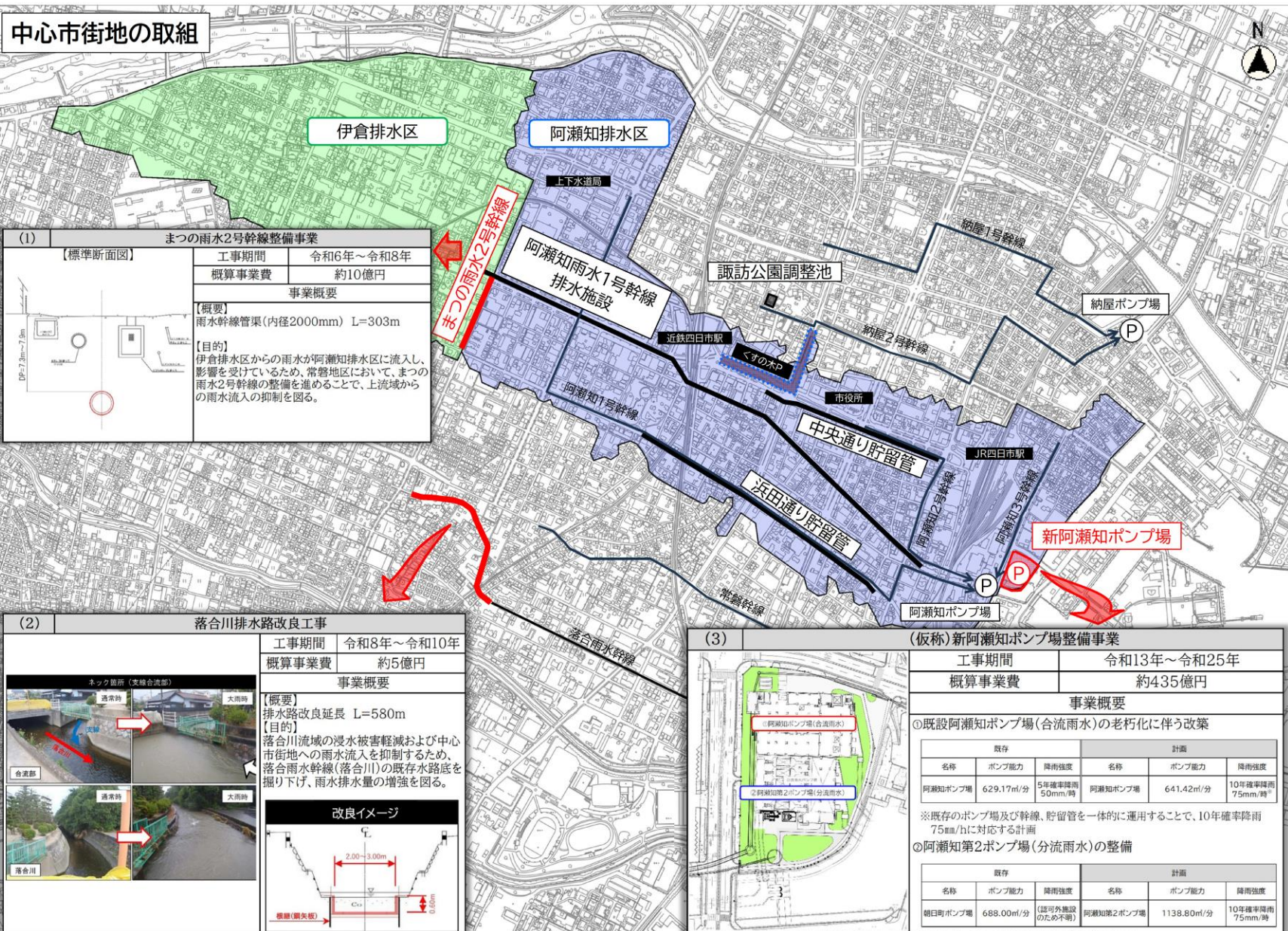
貯留容量:15,290 m^3
(内径4,350mm×延長1,028m)

供用開始:令和4年6月

事業費:約64億円



(2)治水対策の方向性と取組 (ハード対策－今後)



➤ まつの雨水2号幹線整備事業
上流域から中心市街地への雨水流入を抑制するための幹線整備

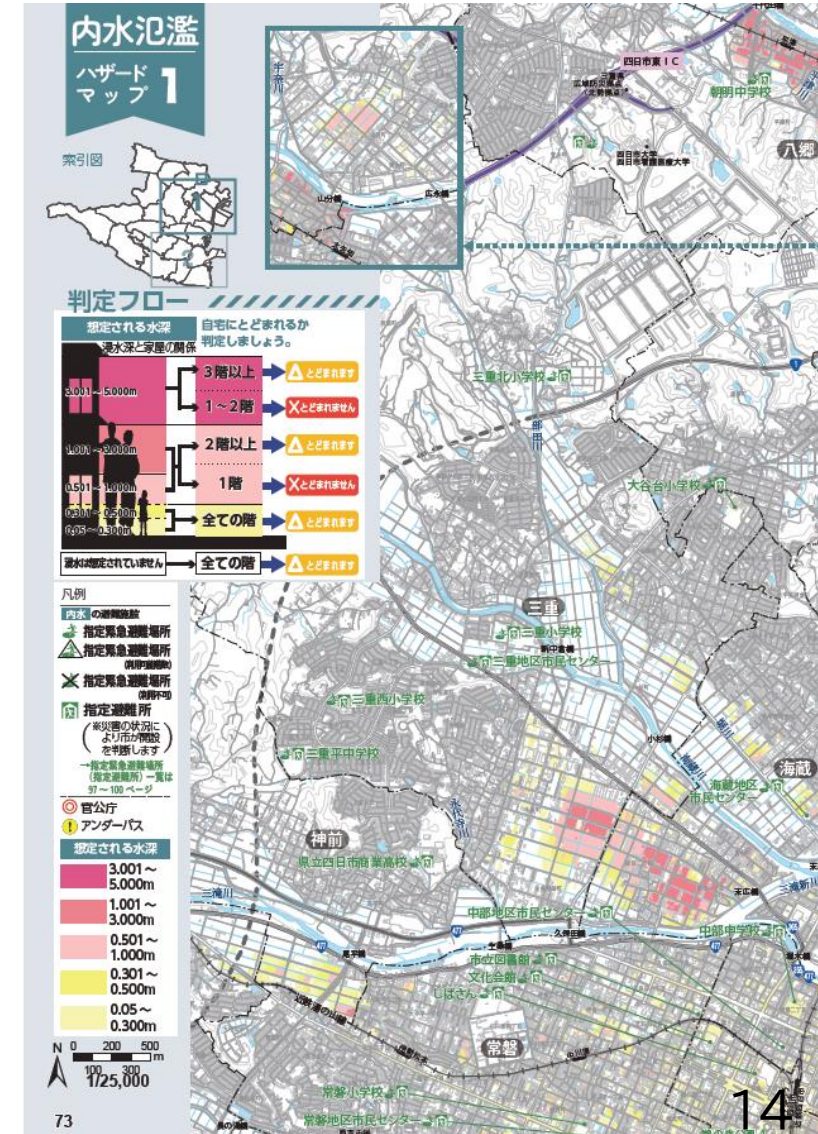
➤ 落合川排水路改良工事
落合川の河床を掘り下げ、排水能力を増強

➤ (仮称)新阿瀬知ポンプ場整備事業
①阿瀬知ポンプ場の老朽化対策
②阿瀬知第2ポンプ場を新設して排水能力を増強

(2)治水対策の方向性と取組 (ソフト対策－これまで①)

➤ 防災ハザードマップ

本マップを作製し、紙での配布をはじめ、ホームページの発信による、防災意識の啓発



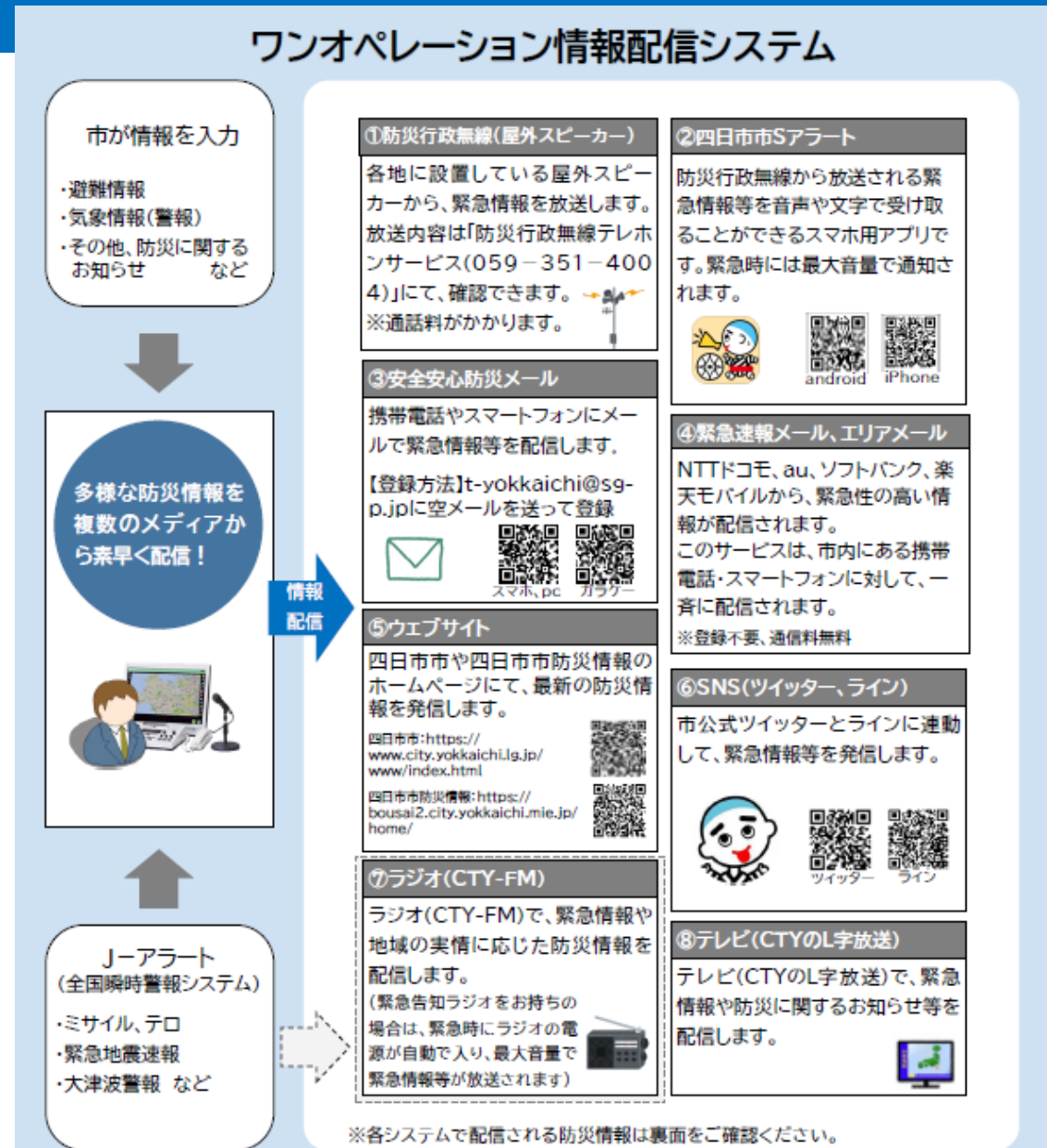
(2)治水対策の方向性と取組 (ソフト対策－これまで②)

ワンオペレーション情報配信システム

災害情報や避難情報等の緊急情報を一斉に配信できる本システムを導入し、防災情報を迅速に発信

(令和3年度から運用開始)

※危機管理部署



(2)治水対策の方向性と取組 (ソフト対策－今後①)

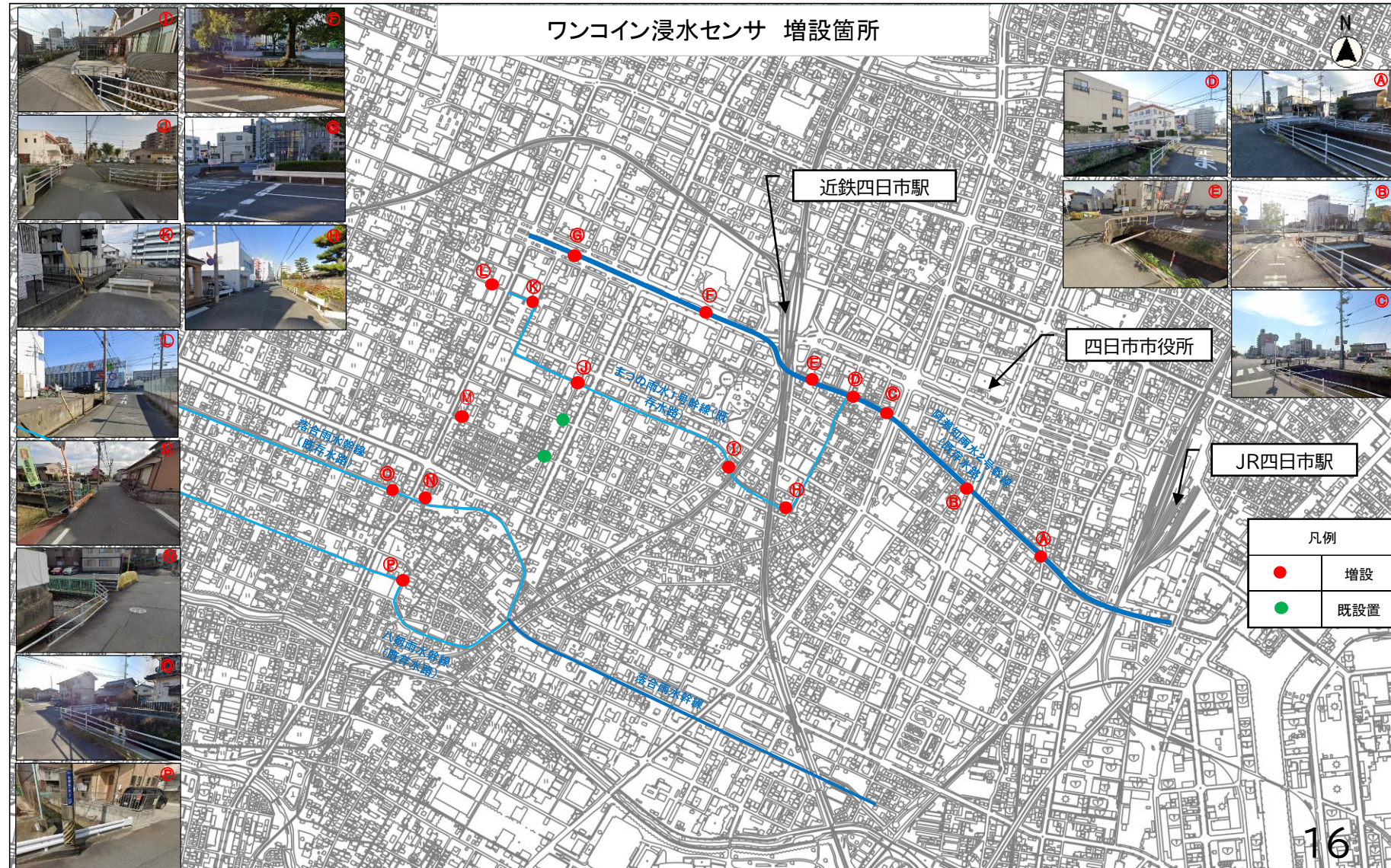
➤ ワンコイン浸水センサの増設

浸水状況の把握のため本センサの設置個所を増設
(市内)

14箇所→30箇所



ワンコイン浸水センサ



(2)治水対策の方向性と取組 (ソフト対策－今後②)

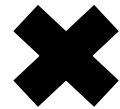
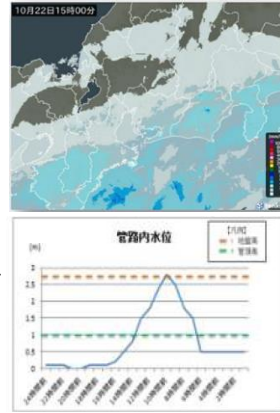
➤ 気象データと水位情報を組み合わせた情報発信の調査研究

浸水の未然防止や被害の最小化を図るため、市民や事業者の防災・減災行動につながる情報発信について調査研究

<調査研究のイメージ>

基礎情報

- ・気象データ
- ・水位情報
- ・人工衛星画像など

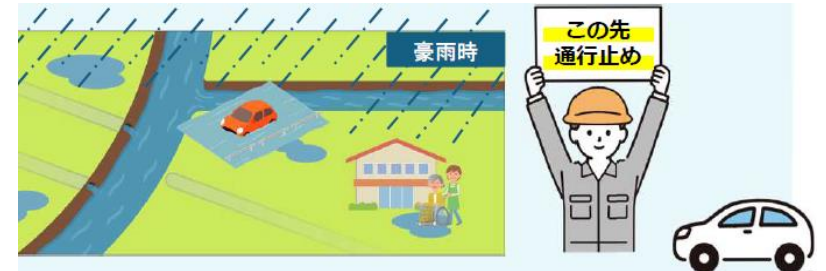


AI



効果

市民や事業者の防災・減災行動につながる情報発信に活用



(2)治水対策の方向性と取組 (ソフト対策－今後③)

➤ 止水板等の設置に係る 補助制度の創設

- ・対象者
市内に所在する住宅、店舗、
事業所、その他これらに類する
建築物の所有者又は使用者
- ・補助金額
要した費用の2分の1とし、
50万円を上限

※危機管理部署



2 下水道事業の経営状況について

目次

(1) 汚水事業の現状と課題

(2) 経営状況

(1) 污水管整備

-

(1)汚水事業の現状と課題

(2)特別重点調査



- 令和7年1月 埼玉県八潮市で下水道管破損による道路陥没が発生
- 影響度が高い管路を全国で一斉に調査
- 四日市市は調査対象延長が28.4km

令和7年1月31日 埼玉県八潮市道路陥没事故現場状況(国土交通省HPより)

(1)汚水事業の現状と課題

(2)特別重点調査



カメラ調査の様子



カメラ調査の管内写真

(1)汚水事業の現状と課題

(2)特別重点調査

	調査済延長	判定	判定延長	今後の対策
優先箇所	0.24km	緊急度Ⅰ	0.13km	速やかな対策実施 原則1年以内
		緊急度Ⅱ	0.11km	応急措置を実施した上で、5年以内に対策実施
優先箇所以外	0.46km	緊急度Ⅰ	0.19km	速やかな対策実施 原則1年以内
		緊急度Ⅱ	0.27km	応急措置を実施した上で、5年以内に対策実施

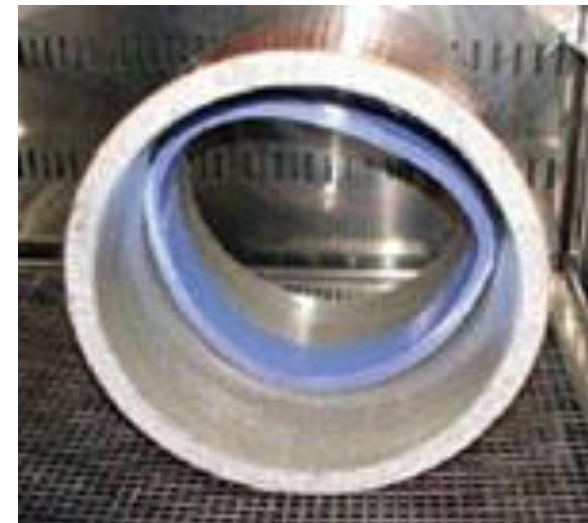
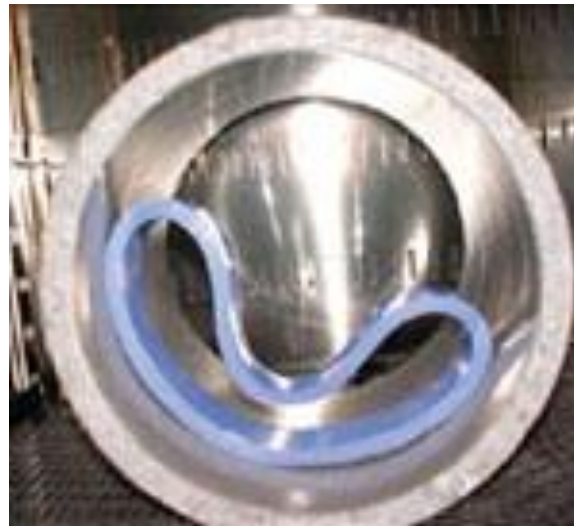
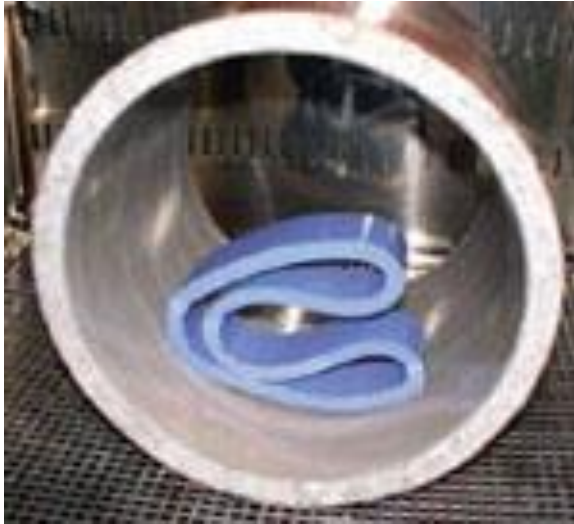
優先箇所…構造的に腐食しやすい箇所や過去に腐食していたが未対応だった箇所

(令和7年8月時点)

(1) 汚水事業の現状と課題

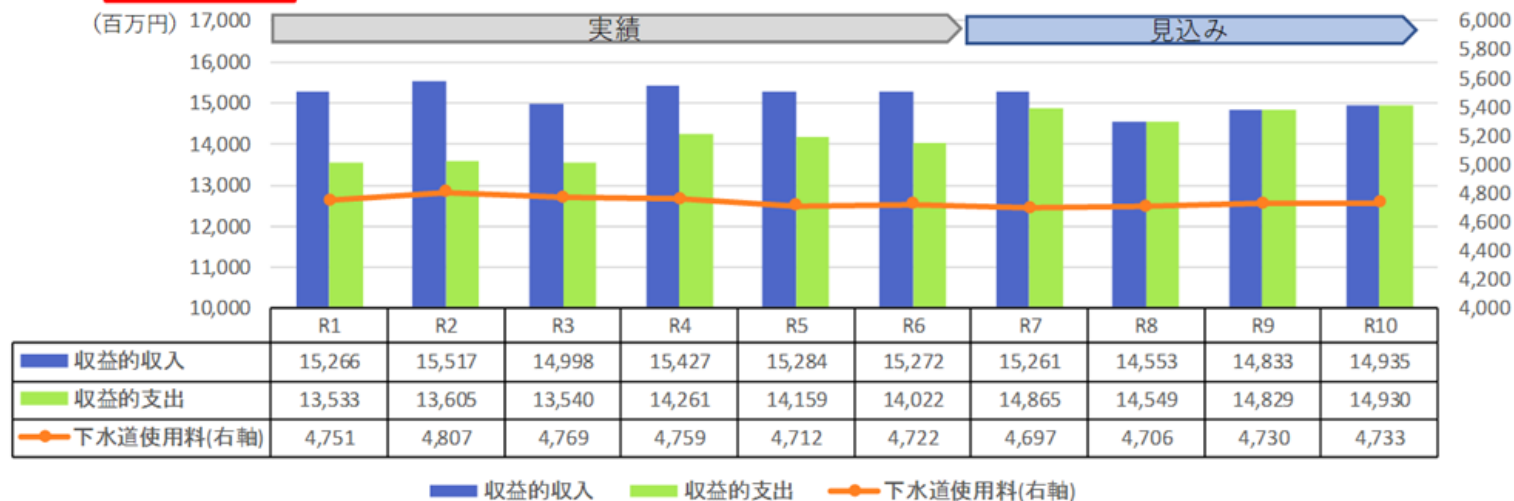
(3) 老朽化対策事業

一例(管更生工法)



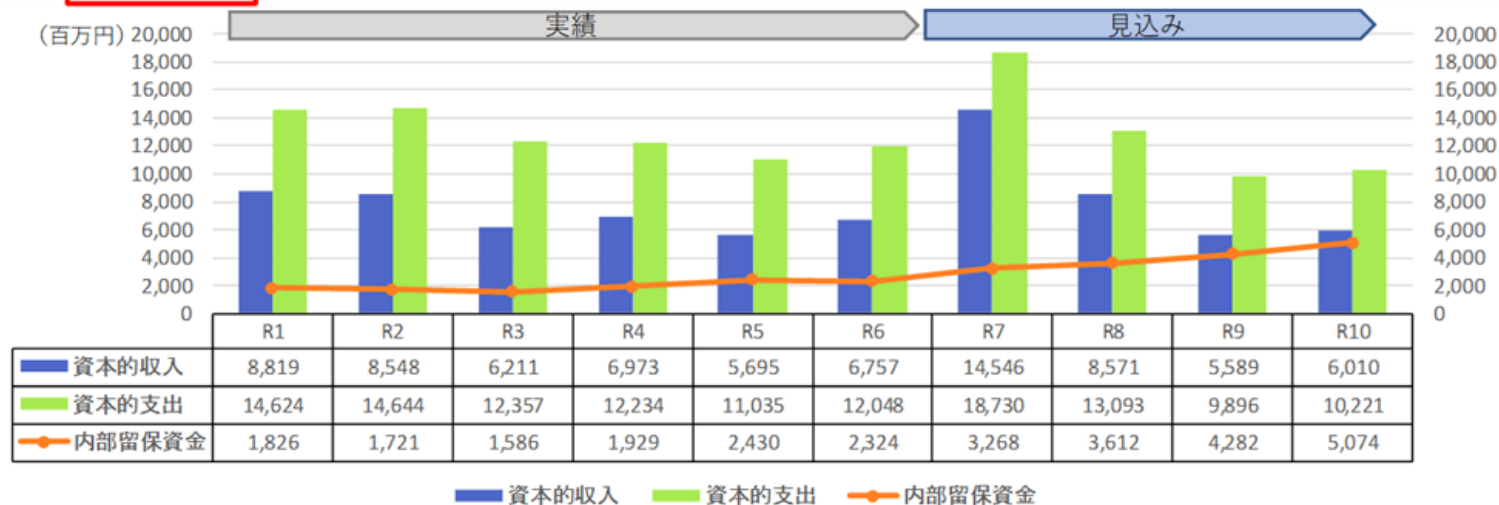
(2) 経営状況

収益的収支



- 人口減少により増収は見込みづらい
- 物価上昇等の影響から維持管理費が増加
施設更新が増える中での影響は大
- しかしながら令和10年度までは使用料改定は必要ない見込み

資本的収支



3 四日市市上下水道事業運営委員会への改編について

目次

(1)水道事業の現状と課題

(2)水道料金改定の検討

(3)委員会の改編

(1)水道事業の現状と課題

➤有収水量の減少

人口減少や節水機器の普及に伴う有収水量※の減少 ⇒ 給水収益の減少

※有収水量とは、料金徴収の対象となった水量

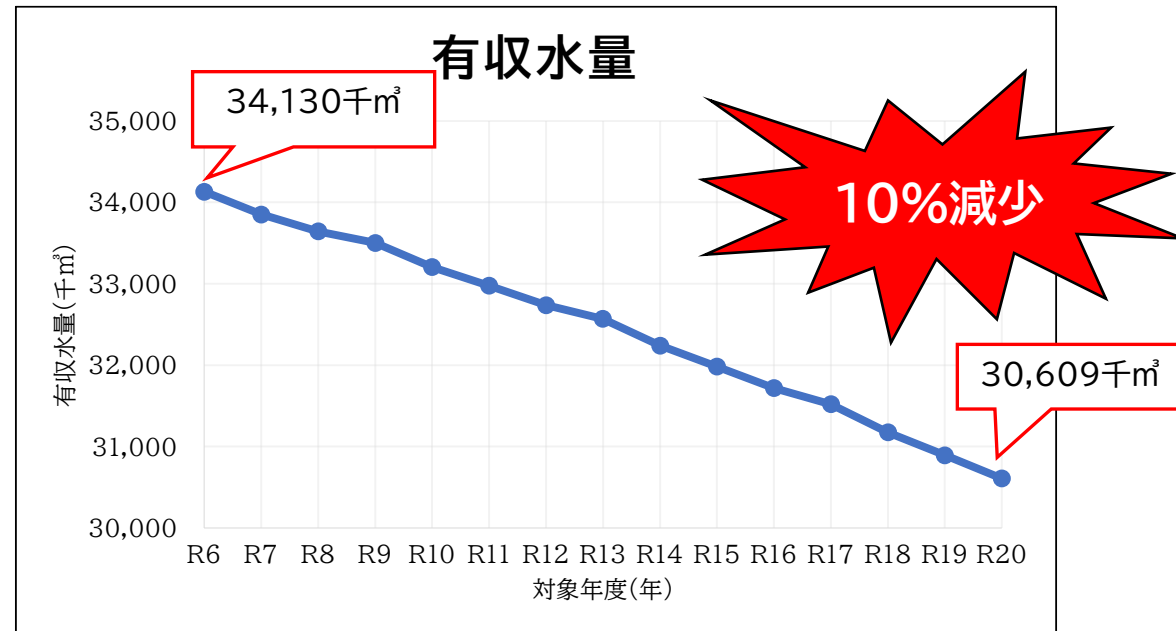


図:有収水量の推移

(令和6年度は実績、令和7年度以降は見込み)

(1)水道事業の現状と課題

➤物価等の上昇

人件費や物価の急激な上昇

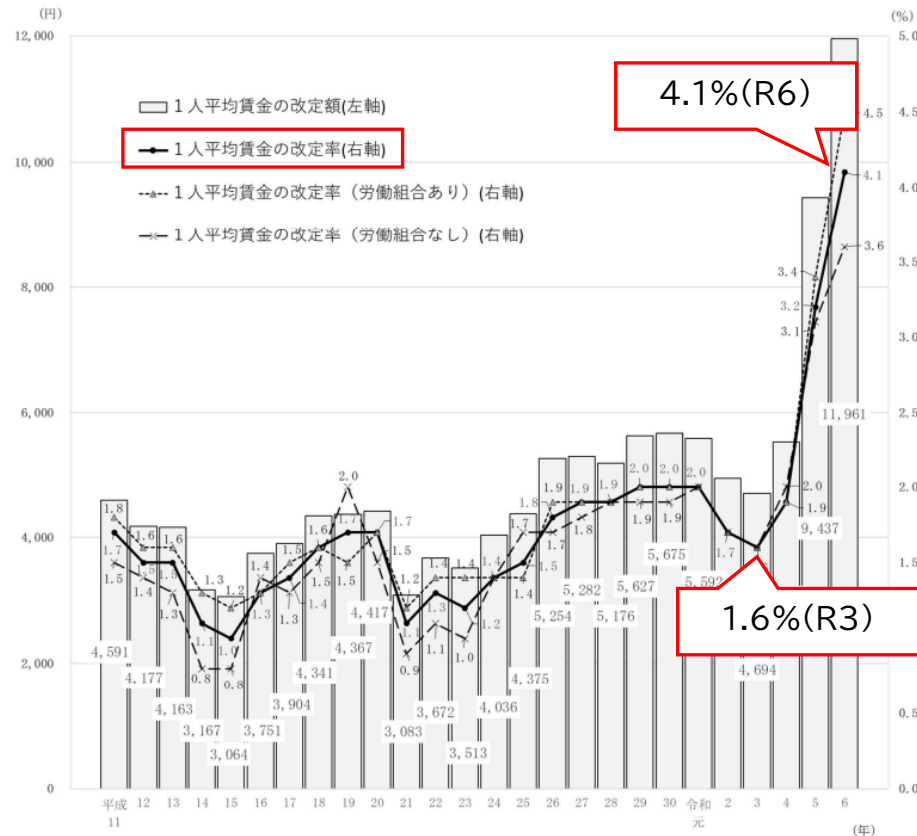


図:平均賃金(人件費)の改定率の推移※1

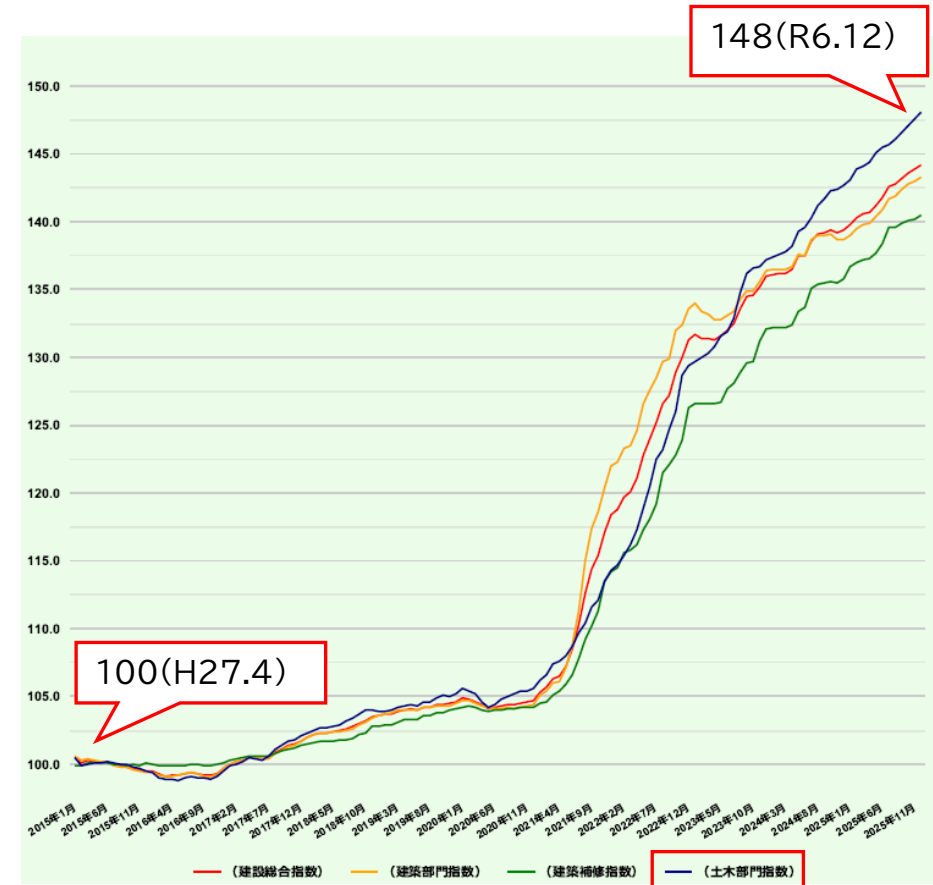


図:建設資材(物価)に係る物価指数の推移※2

※1 出展:厚生労働省 令和6年度賃金引上げ等の実態に関する調査の概況

※2 出展:一般財団法人建設物価調査会 建設資材物価指数グラフ

(2)水道料金改定の検討

➤他都市の状況

近年、他都市では水道料金の改定を実施

本市では、平成10年の値上げ及び平成17年の値下げを経て、それ以降改定していない

県名	自治体名称	改定時期	改定率	水道料金(税込)	
				口径13mm、月10m ³ 使用の場合	口径20mm、月20m ³ 使用の場合
三重県	四日市市	H10.4 H17.10	23% ▲2.8%	1,056円	2,959円
	桑名市	R5.1	10%	1,309円	2,750円
	津市	R4.4	28%	1,507円	3,707円
	鈴鹿市	H30.4	13%	1,348円	3,108円
	川越町	R7.7	27%	1,194円	2,640円
	東員町	R7.5	29%	911円	2,426円
	朝日町	R7.4	28%	1,716円	3,905円
愛知県	名古屋市	R7.10	10%	957円	3,124円
	岡崎市	R7.10	10%	1,431円	3,491円
	一宮市	R6.10	15%	878円	2,303円
	豊田市	R6.4	6%	1,975円	3,031円

表：料金改定及び水道料金

(2)水道料金改定の検討

➤背景

- ①有収水量の減少、物価等の上昇
- ②他都市では、水道料金の値上げを実施する動き



他都市と同様、本市においても適切な水道料金の検討が必要

(3)委員会の改編

➤四日市市上下水道事業運営委員会への改編

諮問機関として本委員会を四日市市上下水道事業運営委員会へ改編

○条例改正(四日市市下水道事業運営委員会条例)

①所掌事項を変更

(改正前) 下水道事業

(改正後) 水道事業及び下水道事業

②委員数の変更

(改正前) 7名

(改正後) 8名

⇒令和8年4月1日の施行に向け、条例改正を進めていく

(3)委員会の改編

○今後のスケジュール(予定)

令和8年度

第1回審議会(7 月)『事業概要・収支の実績と見通し・料金改定の考え方』など

第2回審議会(10月)『料金値上げ案を複数提示』など

第3回審議会(2 月)『料金表(案)を提示』など

令和9年度

第1回審議会(5 月)『四日市市上下水道事業運営委員会からの答申』

令和7年度 第1回 四日市市下水道事業運営委員会

ご清聴ありがとうございました。